

ドッグランの実証実験

結果検証／今後の課題

①河川敷に設置するドッグランの課題

- 1) 利用者からはドッグランの設置に対して前向きな評価が多かった。
- 2) 足場の悪さを指摘する声が多く対策が必要。
- 3) 高さが1m以上のものは、増水時ごとに撤去が必要になる。柵は増水時には1m以下に倒せるものが考えられるが、付帯施設として期待される日よけ、水場、ベンチ、犬用トイレ、掃除道具入れ等の撤去なども含め、その作業を行う人員の確保が必要。

②運営方法

- 1) ボランティアに委託する場合は、役割、責任を明確にしておくとともに、利用者対応のトレーニングを徹底する必要がある。
- 2) 天気の良い日曜日、祭日など入場制限の必要。
- 3) 無人であっても毎日の管理が必要であり、その人員を確保が必要。

③設置場所提言

河川敷でのドッグランの運営には、増水時の対応などの制約や管理人件費等のコストがかかるため、ドッグランを作るのであれば、管理がより容易で、コストも抑えられる、東公園、中央総合公園等での設置が望ましい。